

平和でこそ商売繁盛！ロシアはウクライナから撤退せよ！難民支援募金も取り組もう！

発行：2022年5月9(月) No. 471

# 名古屋北部民商ニュース

名古屋北部民主商工会

〒462-0035 北区大野町3-19

TEL (052)915-8111

FAX (052)915-8111

E-mail jimukyoku@hokubuminsho.stl.jp

## コロナ不況を民商の知恵と力で乗り越えよう！！

### 事業復活支援金の事前確認も民商で

4月22日（金）午後2時から5時まで、5人の会員が春原行政書士の事前確認を受けました。今、東京でもに仕事をしているMさんは、休みを取って参加。このために名古屋に帰ってきました。「仕事は順調だったが、コロナのために2月、3月と売上が落ち込んでしまっ」と。書類が全部そろっておらず、次回に延期した会員は、春原さんから必要書類の説明を受け「なにがいるのか理解できました」と話していました。26日にも、午後の部・夜の部で9人が参加。資料を取りに帰ったり、来所してから仮申請をしたり「メールアドレスが分からない」「なぜか、登録したID、パスワードがエラーになる」などトラブルを対処しながら、なんとか終了しました。事前確認が済んだら申請。「自分でやります」「息子に申請してもらいます」という人もいますが、個別にサポートの必要な人は、一人ずつ相談に乗ることにしています。

### 「憲法9条がいかに大切がよくわかった」

4月24日（日）愛商連婦人部第54回定期総会が開かれ、県下民商婦人部から、役員・代議員62名（うちオンライン14名）が参加。北部民商からは5人が参加しました。議事のあと、平和学習、午後からは音楽フェスティバルが行われ、有意義な一日となりました。

北部民商の三浦章代さん（愛婦協常任幹事）は、総会の議長を務めました。三浦さんは「平和委員会の矢野さんのお話を聞いて、憲法9条がいかに大切か、核兵器廃絶こそ平和への現実的な道であることがよくわかりました」「音楽フェスティバルでは、音楽の楽しさを味わいました」と感想を語っていました。



### 税務調査の対策会議 & 第1回の調査

4月1日に税務署から電話があり、5日に入会したAさん。20日に民商で「税務調査対策会議」を開き、Aさん夫妻、柳澤会長、大谷副会長、楠支部支部長の森さん、事務局2名が参加。まず、税務署から電話があった経過から現在までのやりとりをAさんが説明。「現場にいたときに電話があって内容はよくわからないが、調査だということはわかった。税務署の担当者に電話したが折り返しがなく、放置していたら何度も着信があり、出られずにいたら、電話してほしいという旨の手紙が自宅に届いていた。妻も心配で寝られない」と不安な心情を語りました。その後、納税者の権利パンフを読み合わせ、任意調査と強制調査の違いなど学びました。奥さんは「調査を先延ばしにしても、大丈夫なんですか。私は、ストレスで体調も悪くなってしまい、早く終わってほしい」と話しました。役員からは「早く終わらせようと、税務署のペースに乗らないほうがいいよ」と優しくアドバイス。Aさんたちは「少し、安心しました。民商さんは税務署に対して強いんですね」と笑顔に。その後、26日午前10時から、第1回の税務調査がAさん宅で行われました。Aさんが「調査の理由を教えてください」と言っても、担当の署員は「申告内容の確認です」と繰り返すのみ。立ち会っていた、役員、事務局から「概括的な理由でも述べるべきだ。そうでなければ、理解と納得を得て調査を進めることなどできない」と言いましたが、「申告内容の確認」以外の言及はありませんでした。



奥さんが、「今から病院に行かないといけないので」と話し、「どういう病院ですか」と署員が尋ねたところ、奥さんが持病を告白。役員、事務局も知らされていなかったため、「守秘義務というが、すでに守秘義務をおかしているではないか」と問うと、税務署員は沈黙。

「これ以上は、調査を進められないので」と帰っていきました。Aさんは「私たちがけだつたら、とても耐えられなかった。心強かった」と語りました。